



看板を掲げる右から陣内校長、吉野教育研究支援室長、熊田技術長

### 北九州高専「教育研究支援室」を設置

北九州高専は、技術の進展に伴い、高専の教育研究活動を技術的側面から支えている技術職員の教育研究支援体制を強化することを目的に、「教育研究支援室」を一月一日付で新たに設置した。

支援室は、校長直轄の支援室長の下に技術長、二つの技術グループで組織され、各グループには組織変えされた技術職員で構成。この組織化に伴い、これまで個別に依頼されていた技術支援がシステマティックに運営されることになる。

去る一月五日に開催された記念式典では、支援室の看板を掲げた後、陣内校長の挨拶に続き、吉野室長が「高専は実践的な教育の場であり、ものづくりが大変重要。技術職員は高専教育に欠かせない存在です。組織化されたスケールメリットを生かし、高専のために貢献したい」と抱負を述べた。